

2. 仙台市の被害状況 (仙台市災害対策本部調べ)

(1) 人的被害 (2011年10月28日現在)

死者 704名 (男性 399名・女性 305名) ※

- ※1 仙台市住所登録者以外の方を含む。(90名)
- ※2 3月11日の地震及び4月7日の余震による直接的な原因で亡くなられた方のほか、避難所で亡くなられた方など災害関連死の可能性のある方のうち、地震から概ね1月以内に亡くなられた方を含む。(51名) なお、災害関連死については認定を待つ必要があり、今後、数値は変動する。
- ※3 本市独自の集計のため、警察発表の数値と異なる場合がある。
- ※4 市内で発見された身元不明のご遺体のうち、本市で引取したご遺体数を含む。
- ※5 市外で被災し死亡が確認された仙台市住所登録者は含まない。(164名)

行方不明者 26名 (男性 10名・女性 16名)

負傷者

- 重傷 275名 (うち4月7日余震:6名)
- 軽傷 1,994名 (うち4月7日余震:65名・7月25日余震:2名・7月31日余震:1名・8月19日余震:1名)

(2) 建物被害 (10月23日時点速報値)

全壊:26,368棟 大規模半壊:20,996棟
半壊:56,810棟 一部損壊:103,230棟

(3) 津波被害

人的被害(死者704名・行方不明者26名)(再掲)

浸水世帯(8,110世帯、うち農家1,160世帯)

農地被害(海水浸水約1,800ha等)

産業施設の損壊(仙台港周辺の工場等)

ライフライン施設の損壊(ガス局港工場、南蒲生浄化センター等)

交通インフラ施設の損壊(仙台港、仙台空港等)

(4) 被害額の概要

市内被害推計額:約1兆2,823億円(10月28日時点)

市有施設関係:約3,350億円
 水道、ガス、下水道などライフライン関係 1,720億円
 地下鉄、道路橋りょう、公園など都市基盤関係 1,290億円
 廃棄物処理施設など生活・衛生関係 30億円
 学校、市営住宅、庁舎など建築物関係 310億円

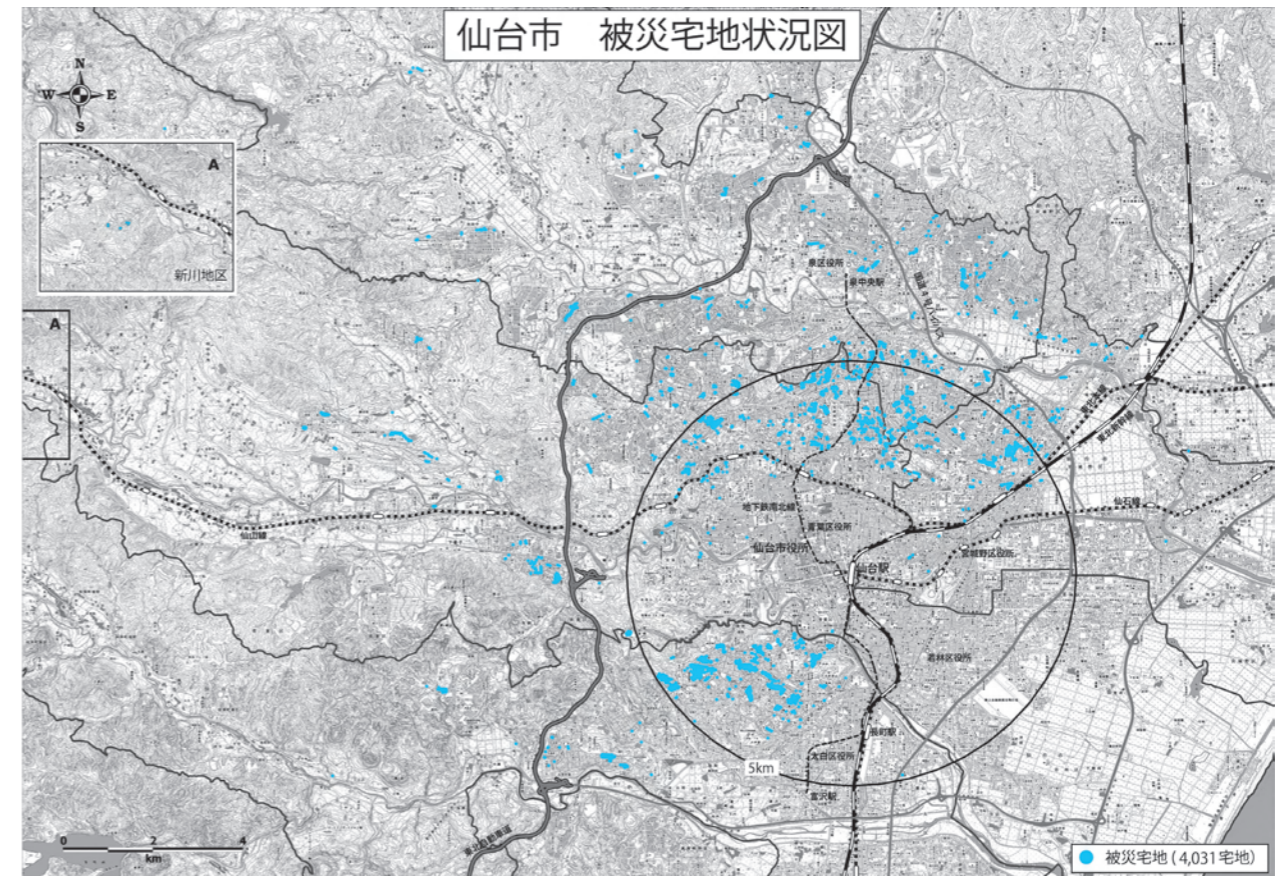
その他公共施設:約1,446億円
 交通関係 259億円
 ライフライン・保健医療関係 32億円
 公共土木関係 267億円
 文教関係 869億円
 その他 19億円

住家・宅地:約5,151億円
 農林水産業関係:約729億円
 農地、農業用機械等 約721億円
 漁業関係 約8億円

商工業関係:約2,147億円
 (有形固定資産並びに製品在庫等の被災状況から想定)

※概数であるため、合計額は一致しない場合がある。
 ※これらは概算額の推計であり、今後精査が進むこと等により大きく変動する可能性がある。

■主な宅地被災箇所分布図



■避難者・避難所数の推移

